

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2023年5月30日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	株式会社ジェネック
所 在 地	〒801-0852 福岡県北九州市門司区港町9-11 門司港レトロスクエアセンタービル3F
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役社長 伊東 純一
担 当 者 連 絡 先	電 話：093-331-8885
	メー ル：keiei-kikaku@geneq.co.jp
ウ ェ ブ サ イ ト U R L	https://www.geneq.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

当社は日本郵船株式会社のグループ会社として関門港、博多港において港湾運送業・倉庫業・通関業を展開しています。
--

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
□環境 ✓社会 ✓経済	役職者に占める女性比率をアップさせる。	役職者に占める女性比率を 25%にする。
□環境 ✓社会 ✓経済	安全教育、安全推進活動を継続的に実施する。	事故発生率をゼロにする。
✓環境 □社会 □経済	EV 等の低公害車を導入し脱炭素化を目指す。	順次予算化し、導入していく。

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
人 権 ・ 労 働	1【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	・パート、アルバイト、派遣などの雇用の形態を問わず、性別、年齢、障害、疾病、国籍、学歴、宗教、支持政党などを理由に差別せず、人物本位、能力本位の採用を実施					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	2【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・ハラスメント防止規定を整備し、社内に周知 ・ハラスメントに対する相談窓口を設置 ・ハラスメントについての社内研修を実施 ・ハラスメント問題について、弁護士や社労士に相談できる体制を構築					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	3【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・有給休暇取得率の目標値を設定 ・業務の互換性を高め、休暇を取得しやすいような助勤体制を構築 ・適法な36協定を締結し、所轄労働基準監督署へ届出 ・タイムカードや業務用PCの管理等により、労働時間を正確に把握 ・在宅勤務、フレックスタイム、ノー残業デーなどの柔軟な勤務体制を実施								8.5 8.8									
	4【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	【差別の禁止】と同様				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
	5【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・安全管理体制の構築 ・安全教育、安全推進活動の継続的な実施				3				8									
	6【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・健康診断やストレスチェック等の結果に問題があれば産業医の面談指導を実施				3													
	7【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・2025年9月末までに役職者に占める女性比率を25%までアップさせる ・障がい者雇用の推進					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	8【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・資格手当や資格取得奨励金を給付し、従業員の取組意欲を高めている ・階層別研修、テーマ別研修の実施				4	5.5			8	9								
	9【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	・「パートタイム・有期雇用労働法」が求める同一労働、同一賃金を実施					5.5			8.5		10.2 10.3							
0【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・従業員に対して、定期的に健康診断を実施 ・健康診断やストレスチェック等の結果に問題があれば産業医の面談指導を実施				3				8										
環 境	1【3 Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3 R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	・プラスチック製容器包装などの分別徹底 ・紙、段ボール、空き缶、空き瓶、ペットボトル等、リサイクルできるものの分別徹底										11.6	12.4 12.5		14.1				
	2【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・電力会社の再生可能エネルギー電力メニューを選択 ・トラック輸送から鉄道輸送への切り替え ・クールビズ、ウォームビズの推進							7.3					13					
	3【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	【エネルギー】と同様							7.2 7.3				12.4	13.3					
	4【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる					3.9		6.3				11.6	12.4						
	5【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している							6.6								15			

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる							6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	・ISO14001の認証を取得			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している													12.6					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	・再生可能エネルギーによる発電および供給							7.2						13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる													12.2	13	14	15		
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	・認定通関業者、特定保税承認者の取得			3.9									12.4					
22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・ISO9001の取得									9								
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	・鉄道、内航船利用によるモーダルシフトの推進						6						12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	・地域イベント・団体への寄付、協賛、参加				4					9		11	12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・障がい者就労施設等で生産された物品の購入 ・子ども食堂への食品提供				4							11			14	15		17
27	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している									8	9		11	12	13				

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
28	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	・SDGsを推進する社内体制を構築 ・従業員全員で2030年の世界での自社のあるべき姿を議論し、SDGsを使ってそれを達成するための計画を作成 ・SDGs宣言やSDGsへの取組に関する情報を開示								8	9								17
29	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	・反社会的勢力に対する基本方針を策定し、従業員および社外に周知 ・贈収賄防止と公正な取引に関する方針を策定し、従業員および社外に周知 ・個人情報保護ガイドラインを策定し、従業員および社外に周知																16	
30	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	・内部監査室の設置																16	
31	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）																	16	17
32	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している																	16	
33	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる																	16	
34	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	・BCP（事業継続計画）を策定									9		11		13.1			16	
35	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている									8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】 ・各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。 ・列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。（空欄で結構です。） ・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。 ・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。 ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。 ・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。 ・「主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したものです。個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。
--

令和 6 年 6 月 25 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地： 〒801-0852
福岡県北九州市門司区港町 9-11 門
司港レトロスクエアセンタービル 3F

名 称： 株式会社ジェネック

代 表 者： 代表取締役社長 伊東 純一

登録年月日： 令和 5 年 6 月 30 日

みなとSDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
□環境 ✓社会 ✓経済	役職者に占める女性比率をアップさせる。	役職者に占める女性比率を 25%にする。	主任以上の女性労働者の割合 2022 年度 34.2% 2023 年度 35.3%
□環境 ✓社会 ✓経済	安全教育、安全推進活動を継続的に実施する。	事故発生率をゼロにする。	事故災害件数 2022 年度 49 件 2023 年度 34 件
✓環境 □社会 □経済	EV 等の低公害車を導入し脱炭素化を目指す。	順次予算化し、導入していく。	総保有台数に占める低公害車の割合 2022 年度 19.3% 2023 年度 20.3%

令和 7 年 6 月 30 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地：〒801-0852
福岡県北九州市門司区港町 9-11
門司港レトロスクエアセンタービル 3F

名称：株式会社ジェネック

代表者：中島 浩一

登録年月日：令和 5 年 3 月 2 9 日

みなとSDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
☐環境 ☒社会 ☒経済	役職者に占める女性比率をアップさせる。	役職者に占める女性比率を 25%にする。	主任以上の女性労働者の割合 2023 年度 35.3% 2024 年度 33.3%
☐環境 ☒社会 ☒経済	安全教育、安全推進活動を継続的に実施する。	事故発生率をゼロにする。	事故災害件数 2023 年度 34 件 2024 年度 40 件
☒環境 ☐社会 ☐経済	EV 等の低公害車を導入し脱炭素化を目指す。	順次予算化し、導入していく。	総保有台数に占める低公害車の割合 2023 年度 20.3% 2024 年度 20.4%